
統計メールニュース No.946(2017.6.16)

このメールは、配信登録された方に無料で送信しています。

【本日の公表データ】

■小売物価統計調査(構造編)(平成 28 年(2016 年)結果)

《結果概要》

○消費者物価地域差指数(全国平均=100)の「持家の帰属家賃を除く総合」を都道府県別にみると、東京都が 104.4 と最も高く、次いで神奈川県(104.3)、埼玉県(101.5)、京都府及び兵庫県(共に 100.8)などとなった。

一方、最も低いのは群馬県(95.9)で、次いで宮崎県及び鹿児島県(共に 96.1)、奈良県(96.6)、岐阜県及び佐賀県(共に 96.8)などとなった。

最も高い東京都は、最も低い群馬県の 1.09 倍となり、前年の 1.08 倍から 0.01 ポイント拡大した。

○都道府県別に「持家の帰属家賃を除く総合」を平成 27 年結果と比較すると、物価水準が全国平均(=100)以上となった都道府県の数、11 都府県と横ばいとなった。

<http://www.stat.go.jp/data/kouri/kouzou/gaiyou.htm>

□調査へのご理解・ご協力をお願いします。

—あなたの回答で見えてくる、より良い暮らし。— (広報動画)

<https://www.youtube.com/watch?v=NBu76SSnc4I>

配信先の変更・配信中止など

<http://www.stat.go.jp/info/mail/index.htm>

ご意見、ご感想、配信に関するお問合せなど

stat_m-news@soumu.go.jp

※統計データの入手先に関する問い合わせ、統計調査に関する Q&A

<http://www.stat.go.jp/training/toshokan/faq.htm>

このメールにお心当たりがない方は、大変お手数ですが下記までご連絡ください。

総務省統計局統計利用推進課

stat_m-news@soumu.go.jp